

地区復興まちづくり便りへの意見等 (追加分)

■道路について

| | |
|---|---|
| 1 | <p>イ) 嵩上げた防波堤 (10.4m) の頂上を乗り越えて→高台へと避難できる自動車道路を新設して下さい。</p> <p>ロ) 津波警報発令→防波堤の水門 (非門戸) が閉鎖した後に、イ) の上記の道路を自動車が自由に越えて→高台へと避難する道路を作して下さい。</p> <p>ハ) 避難した高台へ座るものを設置して下さい。又、道路カーブを広げて下さい。</p> <p>(70 歳代 男性)</p> |
|---|---|

■支援等について

| | |
|---|---|
| 1 | <p>新しい都市計画もいいですが、私達には、時間がありません。きっと、あと 4~5 年もするともう新しい赤前の姿は、見られない所に旅立ちます。100 年以上も住み続けた先祖伝来の土地であっても、もはや全壊流失して、家の基礎すら不明です。</p> <p>私達年寄りには、何にもなくなった土地は、役所に買い取ってもらって、小さいながらも人生の終末を迎える自分の家が欲しいです。</p> <p>流失家屋の跡地を買上げて下さい。老いの蓄えと土地代で、自分の家を再建したいのです。</p> <p>このまま、仮設住宅で成り行きを観ているのは辛いです。津波の前のにぎやかだった様子が思い出されて、涙する毎日です。</p> <p>狭い空間に閉じこもった生活は、とてもつらく気が狂いそうです。</p> <p>お願いします。誰に言ったらいいのでしょうか。</p> <p>(匿名)</p> |
|---|---|